

骨継ぎの知恵袋

社団法人兵庫県柔道整復師会
会 員 五 反 田 重 夫

【はじめに】

下記に記載したものは、私が日整のプロジェクトでモンゴル国に派遣され、ウランバートルでの市民公開講座の中で作成したものを使用したものです。私の発案ではございません。指の固定法は、それを応用したものです。

1. ペットボトルを利用した簡易固定法

まず2Lのペットボトルを、幅の広い縦面2面と、狭い面2面を切り取る。



手首の骨折と想定し、患部にタオルまたは布を巻く（下巻き）、そこに幅の広い方2枚を重ね合わせ、掌側に付ける。さらに幅の狭い方も2枚重ねにして背側に添え（図Ⅰ）、タオルの残りを巻きつける（図Ⅱ）。



図Ⅰ

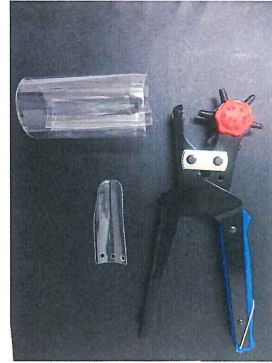
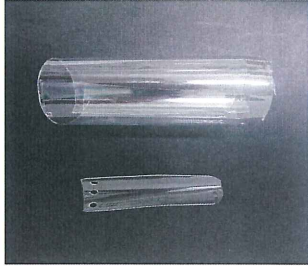


図Ⅱ

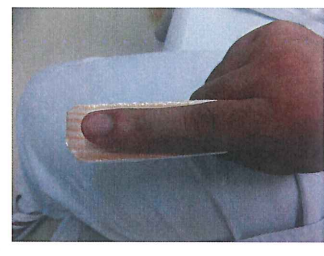
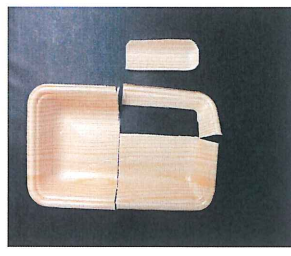
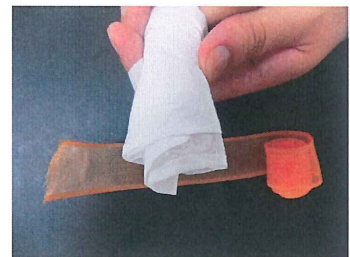
タオルをすべて巻き終わったら、紐、ビニール紐などで止める。



指の骨折・脱臼・靭帯損傷などの固定
ペットボトルの小を利用し、適当な大きさに切り取り、穴あけ器があれば蒸れない程度に穴をあける。



指に装着する時は、下巻きかわりにティッシュを巻きその下に作成した固定具を添え、残りを巻ききってから、リボンなどの少し幅のあるもので巻いて固定する。同じように発泡スチロールでも代用できる



2. レジ袋を利用した提肘

まず、袋の持手の横の部分（図Ⅰ）を縦方向に切り裂く（図ⅠⅡ）。そして持手の輪っかを首に通し、すきまに患肢を通し提肘する（図Ⅲ）。



図Ⅰ



図ⅠⅡ



図Ⅲ

3. レジ袋を利用した止血処理（直接圧迫法）の仕方。

できれば小さめのレジ袋（図Ⅰ）を用いて、袋の中に手を入れた状態で出血部分（図Ⅱ）を強く圧迫（図Ⅲ）し、血が止まるのを待つ。



図Ⅰ



図Ⅱ



図Ⅲ